



当レポートでは、パイプライン等のエネルギー関連資産を保有・運営する米国のMLP（共同投資事業の一形態）に関する情報提供を行います。

《米国MLP(マスター・リミテッド・パートナーシップ)市場概況》

	MLP		米国株		米国REIT		米10年国債利回り	WTI原油先物 (ドル/バレル)	ヘンリーハブ 天然ガス先物 (ドル/百万BTU)
	トータルリターン指数	予想配当利回り	トータルリターン指数	予想配当利回り	トータルリターン指数	予想配当利回り			
2021年12月31日	1,138.58	7.95%	9,986.70	1.28%	28,625.44	2.50%	1.51%	75.21	3.73
2022年6月30日	1,252.87	8.38%	7,993.43	1.71%	23,136.73	3.56%	3.01%	105.76	5.42
2022年7月29日	1,409.33	7.51%	8,730.46	1.58%	25,114.35	3.30%	2.65%	98.62	8.23
前月比	12.5%	-0.87%	9.2%	-0.13%	8.5%	-0.26%	-0.36%	-6.8%	51.7%
年初来	23.8%	-0.44%	-12.6%	0.30%	-12.3%	0.80%	1.14%	31.1%	120.6%
前年比	25.3%	-0.28%	-4.6%	0.21%	-2.1%	0.60%	1.43%	33.4%	110.2%

(出所)ブルームバーグ

※MLP: アレリアンMLP指数、米国株: S&P500指数、米国REIT: FTSE/NAREITオール・エクイティREIT指数、すべて配当込み

《先月の米国MLP市場の動き》

7月のアレリアンMLP(マスター・リミテッド・パートナーシップ)指数は、前月末に比べて上昇しました。

上旬は、積極的な金融引き締めによる世界的な景気減速が懸念される中、売りが優勢となる場面も見られましたが、米雇用統計で非農業部門の雇用者増加数が予想を上回ったことなどを受け、米経済が景気後退に陥り、エネルギー需要が減るとの見方が後退したことなどから、MLP市場は底堅い動きとなりました。

中旬は、米連邦準備制度理事会(FRB)による金融引き締め加速の可能性が改めて意識される中、MLP市場は上値の重い展開となりましたが、その後はFRBの利上げペース加速に対する過度の警戒感が和らいだことなどから、上昇しました。

下旬は、FRBによる利上げペースの鈍化が意識され、株式市場全体が月末にかけて上昇する中、MLP市場は堅調となりました。

《米国MLPトータルリターンおよび配当利回りの推移》

MLP・米国株・米国REITのトータルリターン指数

(2020年末=100)



MLP・米国株・米国REITの配当利回りと長期金利



(出所)ブルームバーグ (期間)2020年12月31日～2022年7月29日

※MLP: アレリアンMLP指数、米国株: S&P500指数、米国REIT: FTSE/NAREITオール・エクイティREIT指数、すべて配当込み

●当資料は、説明資料としてフランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。●その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている運用スタンス、目標等は、将来の成果を保障するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、当該銘柄の売買または保有を推奨するものではありません。●フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第417号)はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。

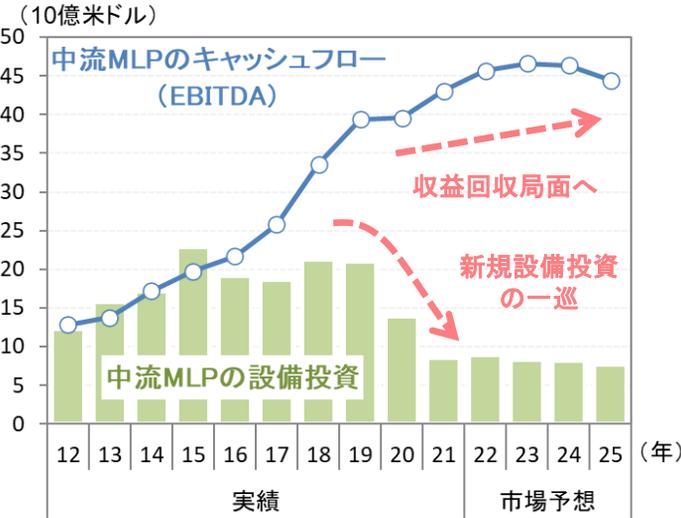


当レポートでは、パイプライン等のエネルギー関連資産を保有・運営する米国のMLP（共同投資事業の一形態）に関する情報提供を行います。

《MLPの利益と配当動向》

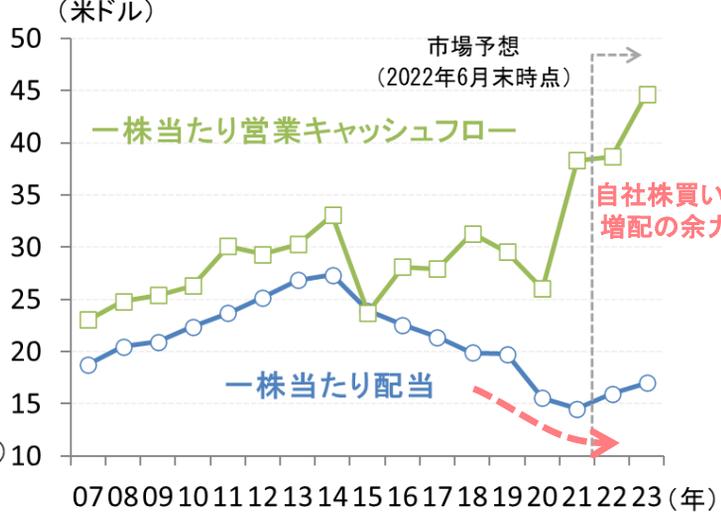
- 中流ビジネスを営むMLPのビジネスモデルは、過去においてはレバレッジを活用してインフラ投資を積極的に行い、成長を追求するというものでしたが、足元ではすでに設備が十分に構築されており、各企業は創出されたキャッシュフローを負債の削減に活用する一方、自社株買いや増配にも充当するモデルにシフトしています。
- 一株当たり営業キャッシュフローも増加することが予想されており、今後は、自社株買いや緩やかな増配の余力が高まることが期待されています。配当は、2022年以降は減配の動きが終息すると予想されています。

MLPの利益と設備投資額の推移



(出所)ファクトセット (期間)実績:2012~2021年、予想:2022~2025年
※集計対象は中流MLP26銘柄 ※予想は2022年6月末時点の市場予想

MLPの一株当たり営業キャッシュフロー・配当の推移

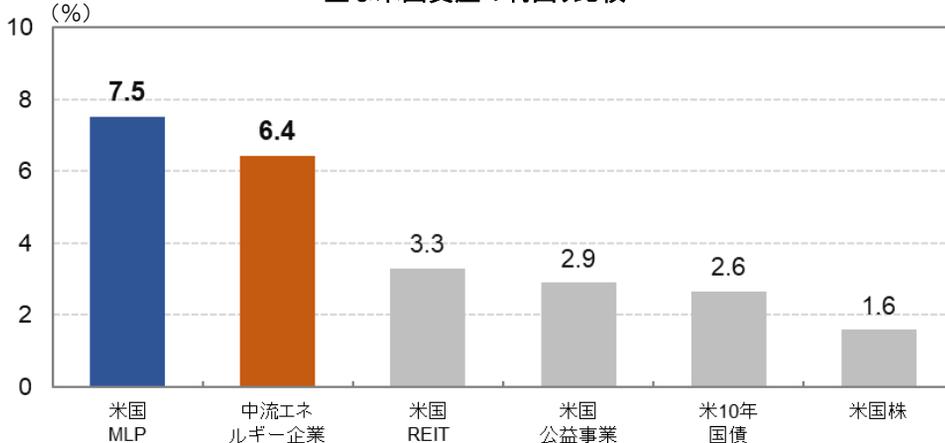


(出所)ファクトセット (期間)実績:2007~2021年、予想:2022~2023年
※集計対象はアリアンMLP指数採用銘柄 ※予想は2022年6月末時点の市場予想

《相対的に高い配当利回り》

- 米国MLPと中流エネルギー企業の予想配当利回りは、米国10年国債や米国株等の他資産と比較して相対的に高い水準を維持しています。世界的な金融引き締めを受けて、景気減速懸念が浮上する中で、安定的な配当収入が期待されるMLPは今後も魅力的な投資対象と考えられます。

主な米国資産の利回り比較



(出所)ブルームバーグ、2022年7月末時点

※米国MLP:アリアンMLP指数、中流エネルギー企業:アリアン中流エネルギー指数(中流MLP銘柄含む)、米国公益事業:S&P500公益事業株指数、米国REIT:FTSE/NAREITオール・エクイティREIT指数、米国株:S&P500指数

●当資料は、説明資料としてフランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。●その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている運用スタンス、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、当該銘柄の売買または保有を推奨するものではありません。●フランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第417号)はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。



当レポートでは、パイプライン等のエネルギー関連資産を保有・運営する米国のMLP（共同投資事業の一形態）に関する情報提供を行います。

《先月の米国MLP・中流エネルギー企業関連ニュース》

- (7月20日)液化天然ガス(LNG)関連事業を営むCheniere Energy社(LNG)は中国石油天然ガス社(ペトロチャイナ)との間で液化天然ガスの長期売買契約を締結。同契約に基づき、ペトロチャイナは年間約180万トンまでのLNGを購入することで合意。取引は2026年から2050年まで。
- (7月26日)Cheniere Energy社(LNG)はタイ石油公社(PTT)との間で液化天然ガスの長期売買契約を締結。同契約に基づき、タイ石油公社は年間100万トンまでのLNGを購入することで合意。取引は2026年からの20年間。

《2022年4-6月期の決算状況》

- 米国MLP・中流エネルギー企業は、一般的にその期の決算発表の前に配当を発表することが多く、7月から2022年4-6月期の配当の発表を開始。配当発表済みの主要MLP・中流エネルギー企業については、配当を引き上げる傾向。

米国MLP・中流エネルギー企業の2022年4-6月期の配当動向

銘柄名	公表日	配当伸び率		予想配当 利回り
		前期比	前年比	
Enterprise Product Partners LP	7月7日	+2.2%	+5.6%	7.1%
Plains All American Pipeline LP	7月7日	±0%	+20.8%	7.9%
Genesis Energy LP	7月13日	±0%	±0%	7.1%
Antero Midstream社	7月13日	±0%	±0%	8.9%
Crestwood Equity Partners LP	7月14日	±0%	+4.8%	9.7%
Targa Resources社	7月14日	±0%	+250.0%	2.0%
DCP Midstream, LP	7月19日	+10.3%	+10.3%	5.1%
Kinder Morgan社	7月20日	±0%	+2.8%	6.2%
ONEOK社	7月20日	±0%	±0%	7.5%
Shell Midstream Partners LP	7月21日	±0%	±0%	6.3%
Magellan Midstream Partners	7月21日	±0%	+1.0%	8.1%
Western Midstream Partners	7月21日	±0%	+56.7%	7.5%
Cheniere Energy Partners LP	7月25日	+1.0%	+59.4%	8.1%
MPLX LP	7月26日	±0%	+2.5%	5.0%
Energy Transfer LP	7月26日	+15.0%	+50.8%	8.7%
Williams Companies社	7月26日	±0%	+3.7%	5.0%

(出所)ブルームバーグ、各種報道等 ※2022年7月末時点

●当資料は、説明資料としてフランクリン・テンブルトン・ジャパン株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている運用スタンス、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、当該銘柄の売買または保有を推奨するものではありません。●フランクリン・テンブルトン・ジャパン株式会社(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第417号)はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。